

2024 カナダ短期留学プログラム

国際食料情報学部・食料環境経済学科・2年・41723192・竹淵 蓮

1. 当初の目的

私の当初の目的は三つある。一つ目は、自身の英語の能力を向上したいという目的だ。私自身、留学の経験がなく、留学してみたいと思ったことと日々学科の授業を受けている中で、「国際」という言葉に興味を持っていたためである。二つ目は、未知の世界に飛び込み、様々な経験をしたいという目的だ。私自身一人で物事に取り組んだことが少なく、違う環境に身を置きたいと思っていた。また、長期留学した姉の姿や自分の夢のために努力している人を見て、私もチャレンジしたいと思ったためである。三つ目は、コミュニケーション能力をつけたいからだ。うまく英語でコミュニケーションできなかったという過去の悔しい経験があったからだ。

2. 目的達成のために現地で活動した内容

私のホームステイ先のファミリーは、夜のご飯をみんなで食べるというのが決まりでした。そこでは、ホームステイファミリーとドイツ人の留学生でご飯を食べた。その日の出来事やカナダについてのこと、日本の魅力など様々な話しをした。また、日々の出来事を書き留めようと英語の日記をした。英語で日記を書いていたことで単語や文法の使い方を心掛けながら書いていた。

学校の行事などの活動にも参加した。学校内の見学やバンクーバーのツアーなどに参加した。目的地まで歩いて向かった。目的地に向かっている間にもメキシコの留学生と話してコミュニケーションをとるようにしていた。

3. 目標達成度の自己評価

私の目標達成度は、6割程度の評価と考える。自身の英語の能力を向上することと未知の世界に飛び込み、様々な経験をすることはできたと思っている。しかし、英語でのコミュニケーション能力の目的は達成できたとは思えない。実際に現地での人と話すときに翻訳機を使ってしまうことが多々あった。また、うまく相手に英語で私の気持ちを伝えることができなかった。もう少し、ボキャブラリーを増やして、私の英語の能力をつけてから留学するべきだったと思った。

ホストファミリーと話しをする時に、私の英語に間違いがあった時に教えてもらうことがある。私自身気づかず使っていたので、優しく教えてもらえたことがとても良かったと思う。このように、他者から私の英語の間違いを教えてもらえるので、正しく英語を使えるようになり、英語の能力の向上につながったと考えられる。

4. 今後の取り組み

私の今後の取り組みとして、英語についてもっと学びたいと強く思った。今回のカナダの留学で様々なことを経験してきた。同じ授業にメキシコの留学生がいて、本来スペイン語を使う人達でも英語を使って話し、同じホームステイ先になったドイツの

留学生も英語を使って話していた。英語がどれほど世界中で必要な言語なのかを再認識することができた。このような経験をしたため、今後も英語を勉強していきたいと考えている。

